田舎に住むドスケベ義父と子育て嫁

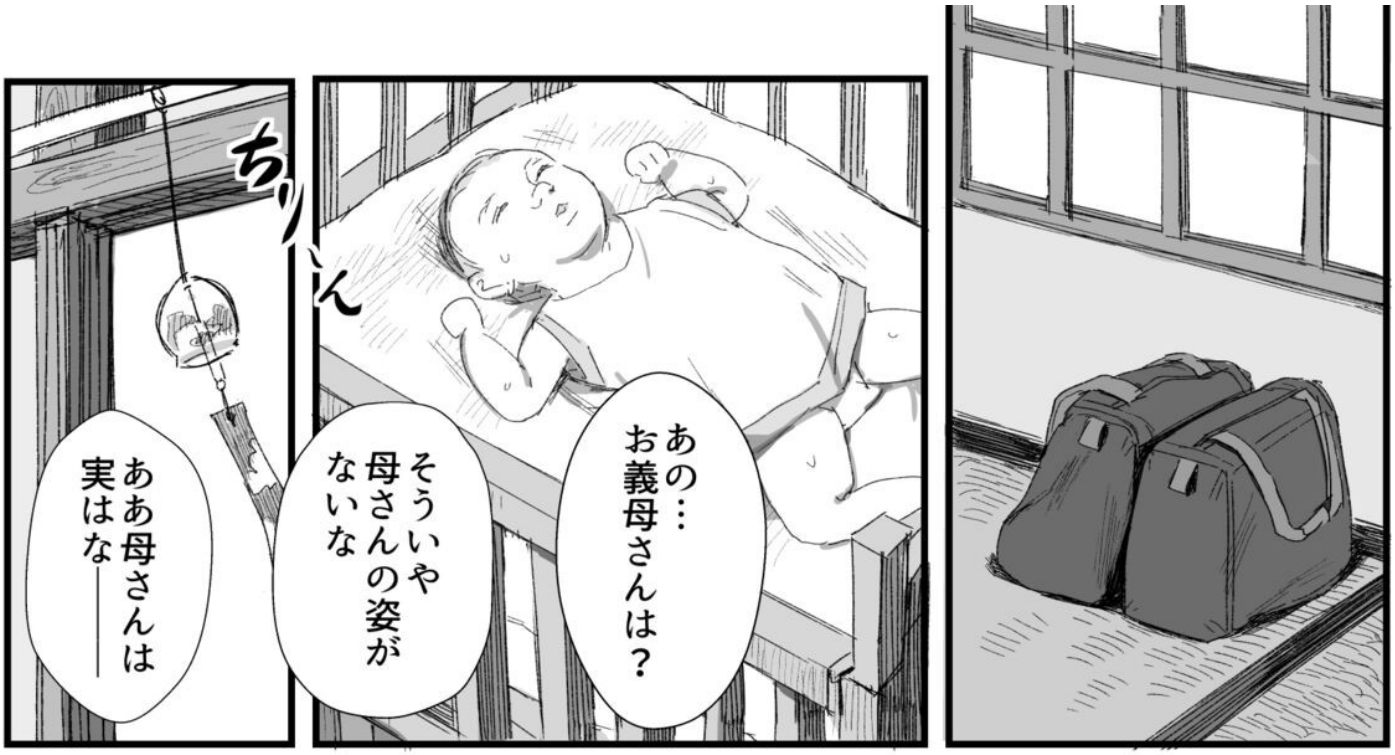
苦手な義父。
夫は外出、逃げ場の無い田舎の家
いやらしい視線
噴き出す母乳を隠す嫁

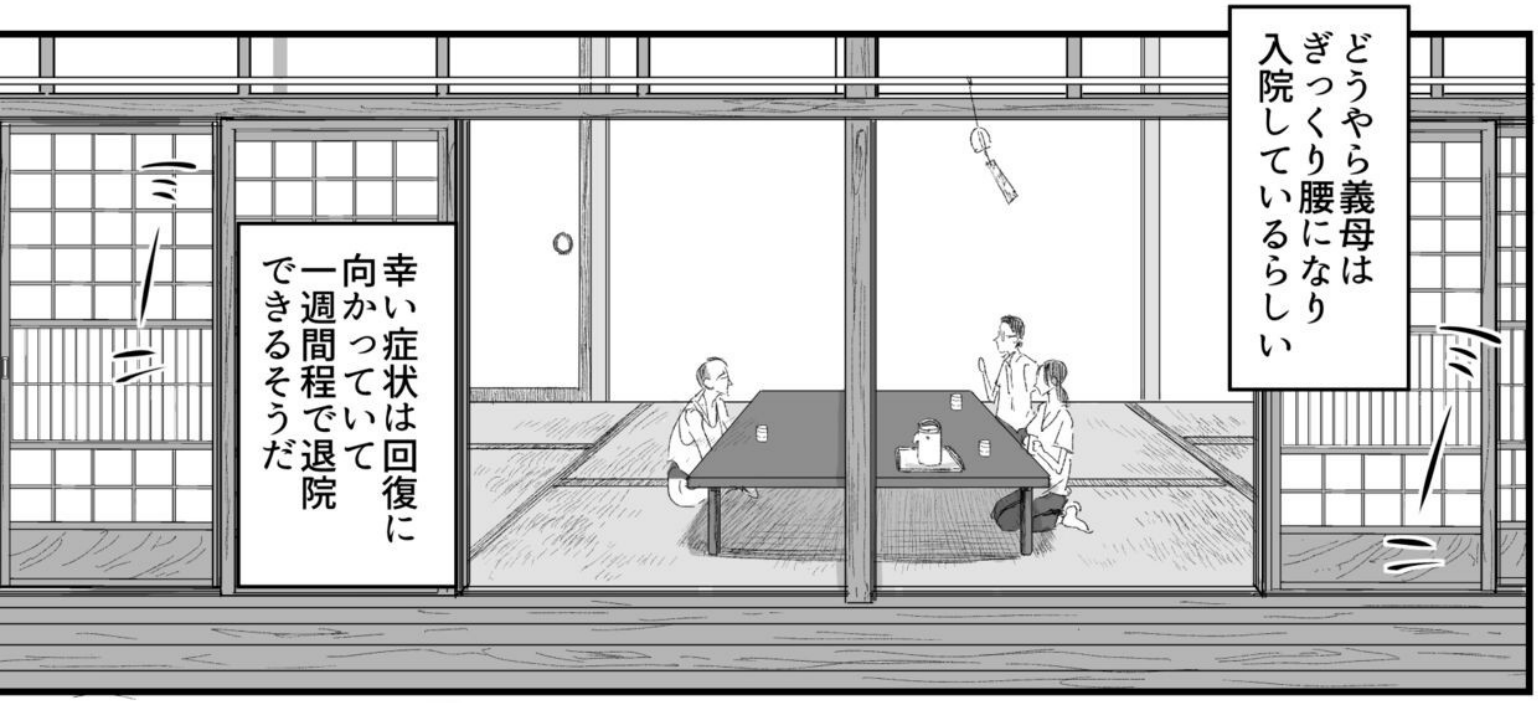
ミーン
ミーン
ブロロロ

ただいま
父さん
ミーン
ミン

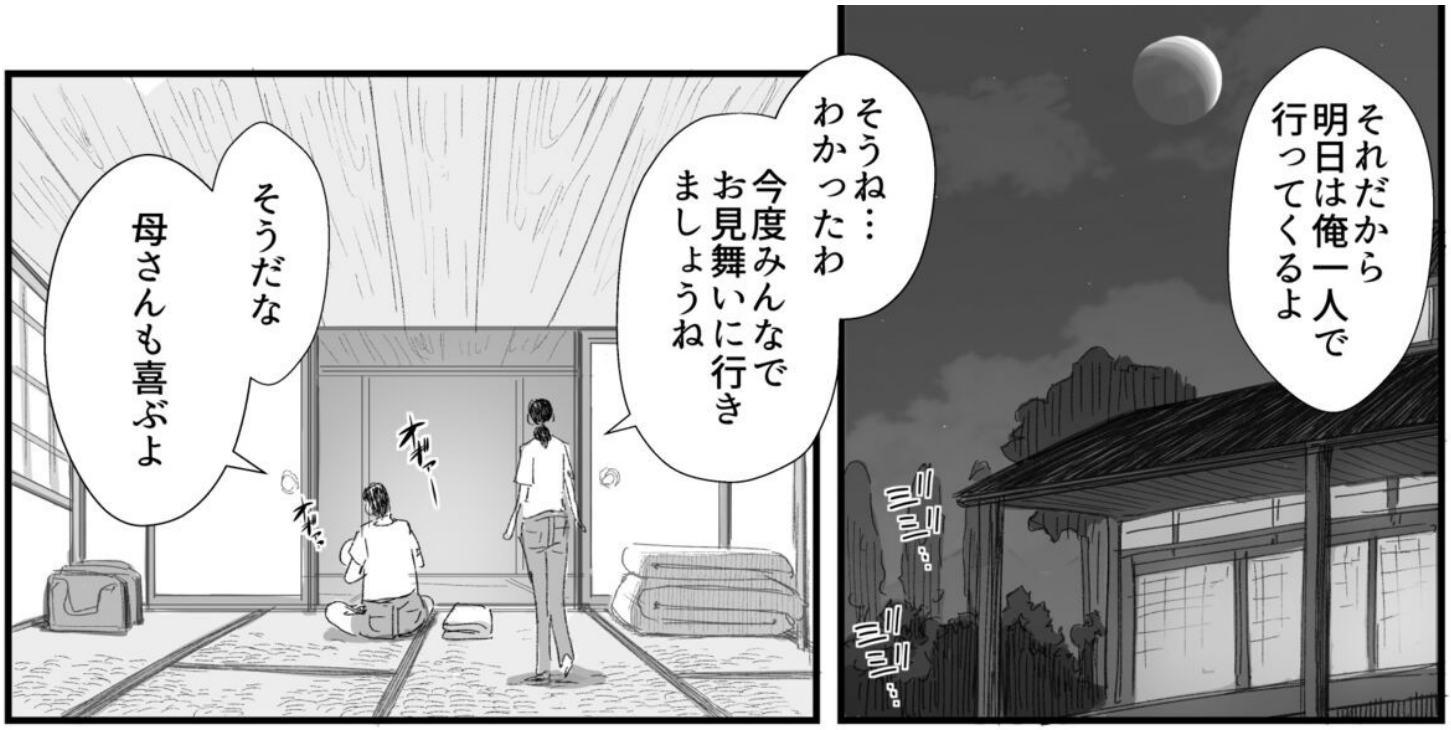
お〜遠いとこから
大変だったろ！
夏子さんも
久しぶりだの

私達は
田舎で暮らす
義父母の元へ
初孫の顔を見せに
やって来た
お久しぶりです
お義父さん
元気だったか
父さん
おう！
まだ朝もビンビンじゃ
ったく
まだ冗談言える位には
元気みたいだな
は…はは
ほら念願の孫だぞ
・・・
おじいちゃん
どれどれ
見せておくれ
ほう～～
こりゃ
可愛いのぉ～

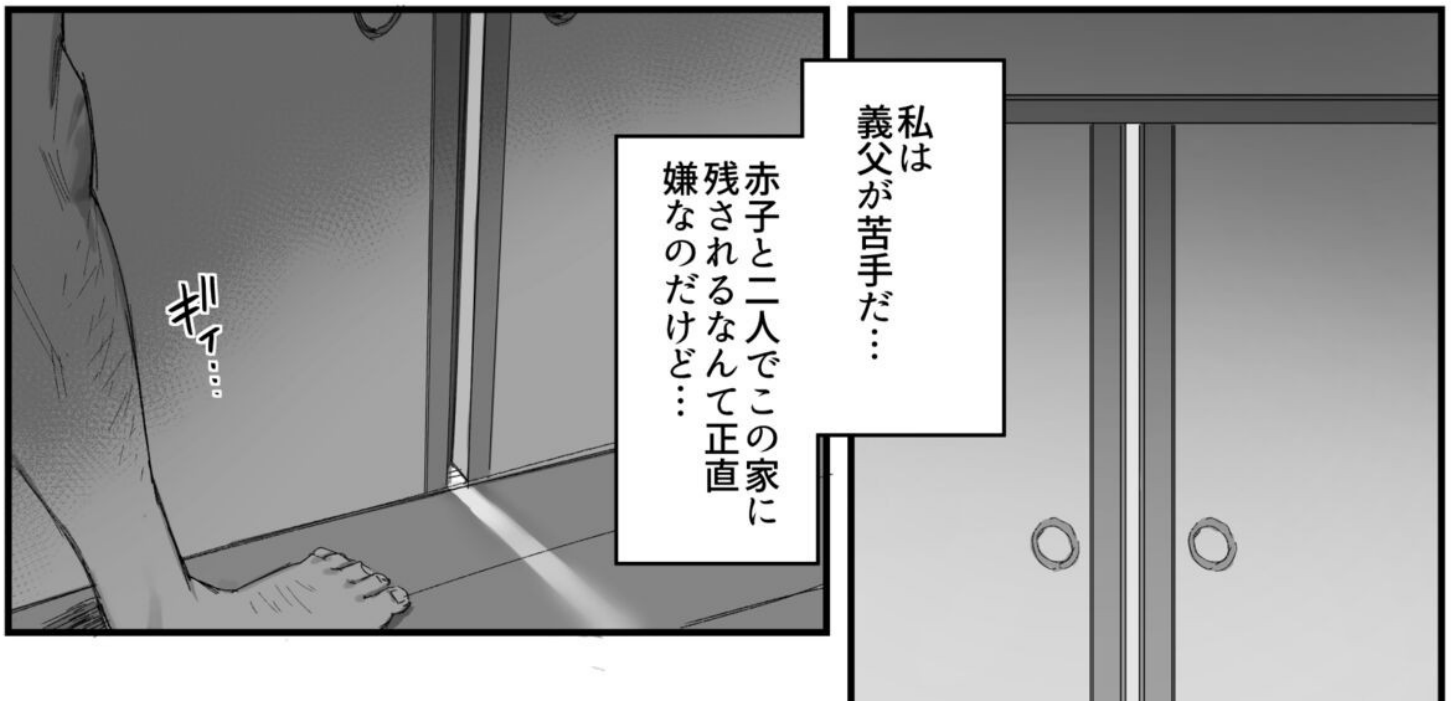

ちりーん
あの…
お義母さんは？
そういや
母さんの姿が
ないな
ああ母さんは
実はな――


どうやら義母は
ぎっくり腰になり
入院しているらしい
幸い症状は回復に
向かっていて
一週間程で退院
できるそうだ

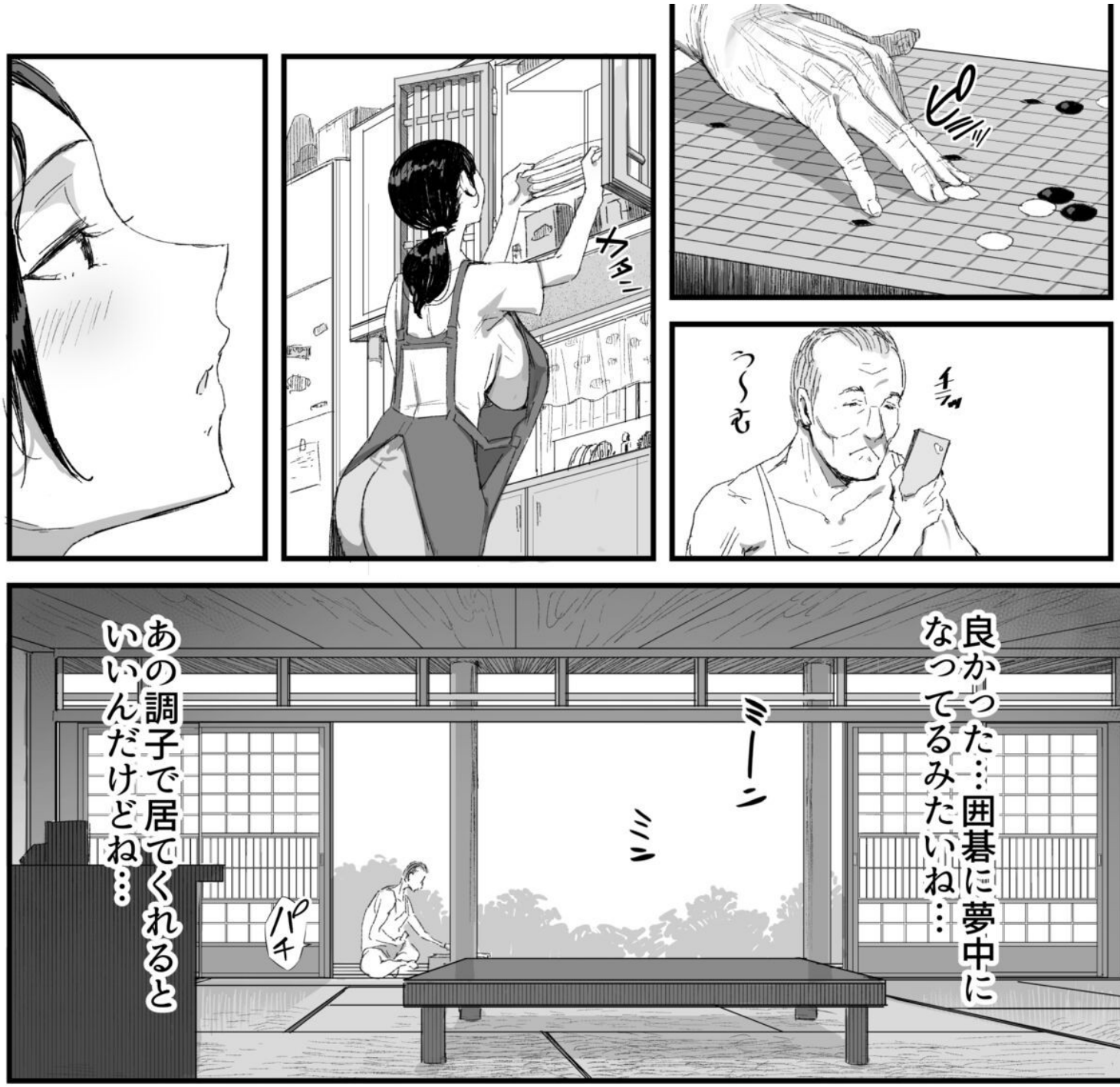
はぁ…お義母さんが
いないなら…
日帰りが良かったな…

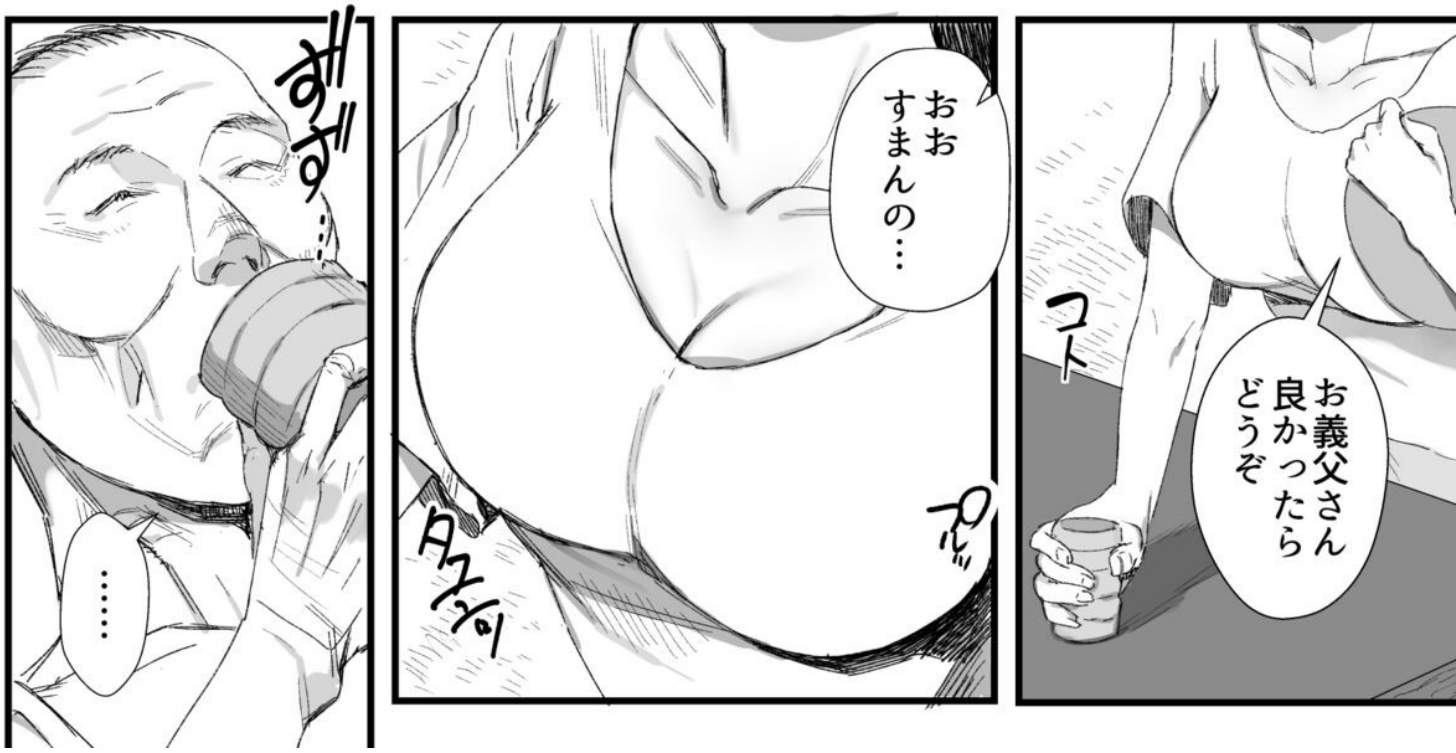

それだから
明日は俺一人で
行ってくるよ
ジジ…
ジジ…
そうね…
わかったわ
今度みんなで
お見舞いに行き
ましょうね
そうだな
母さんも喜ぶよ
オギャー
オギャ…

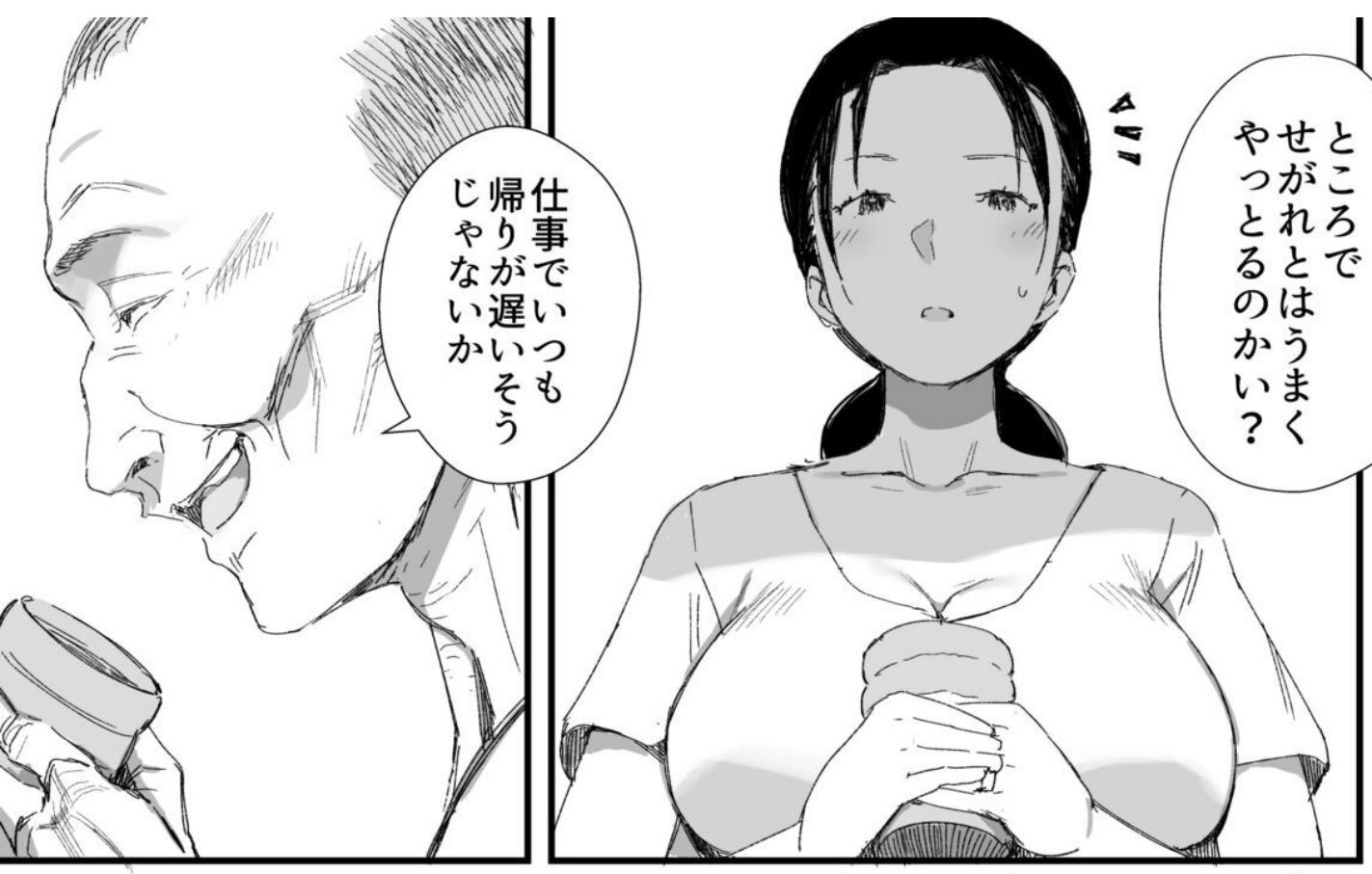
夫が義母の様子を
見に行くと言い出した
私も着いて
行きたかったが…
赤子の負担に
なるからと
反対された
シュル


私は
義父が苦手だ…
赤子と二人でこの家に
残されるなんて正直
嫌なのだけど…
ギィ…

父さんとたくやのこと頼んだよ
ミーン
ミンミン
ガチャッ
ええ お義母さんによろしくね
バタン
あまり…遅くならいでよ
うぃ～ン
日暮れ前には戻るよ
気を付けてね
うん それじゃ行ってくるよ
ブオォォ
行ってらっしゃい


ピッ
カタン
チラッ
う～む
良かった…囲碁に夢中になってるみたいね…
ミーン
ミン
パチ
あの調子で居てくれるといいんだけどね…


お義父さん良かったらどうぞ
コト
おおすまんの…
プル
ダメッ
ずず…
……

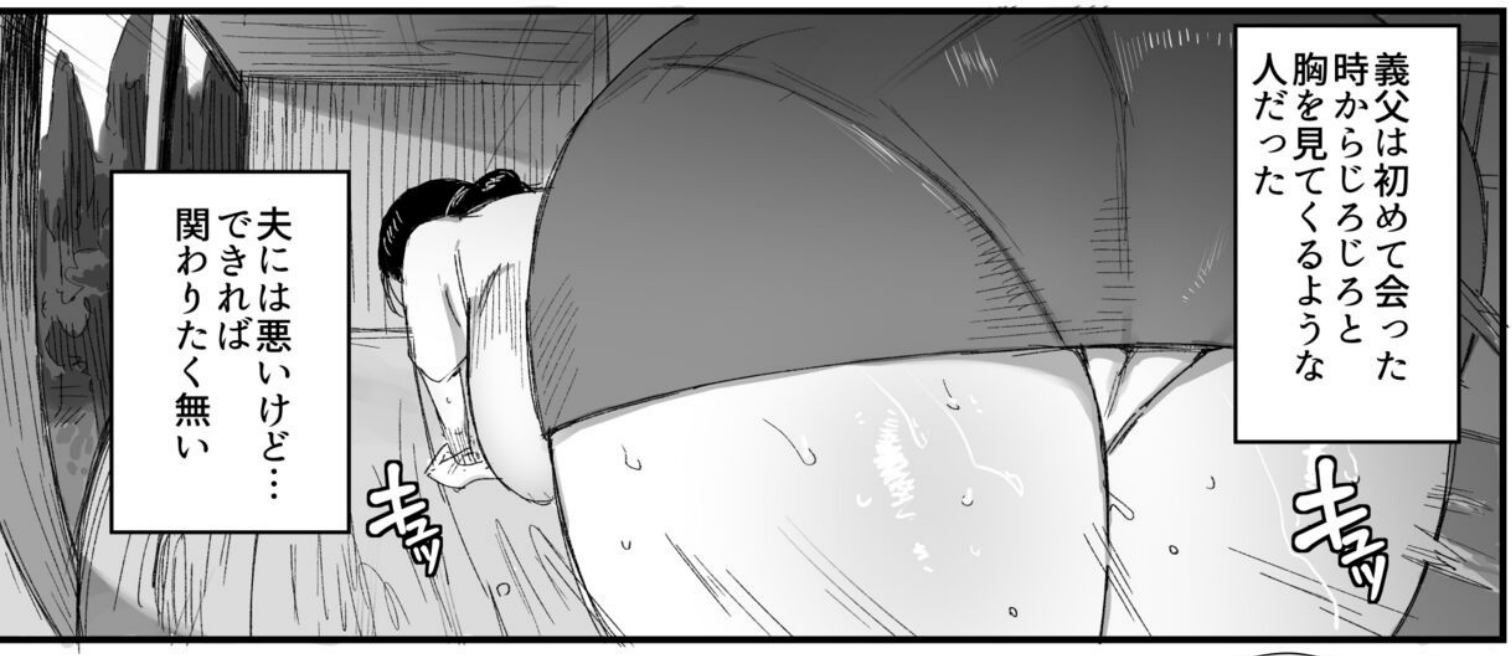

ところでせがれとはうまくやっとるのかい？
仕事でいつも帰りが遅いそうじゃないか

ええ…それでも育児にも協力してくれて頼りになる夫ですよ
チリ
チリ
ほぉ…でもそれだと夏子さんは寂しいんじゃないか？
えっ…

夜の方は相手してもらっとるのかの？
もう…お義父さんそう言う冗談はやめてください…
カァァ
ガバッ
オギャー
オギャァ
ちょっと失礼しますね
タッ
タッ

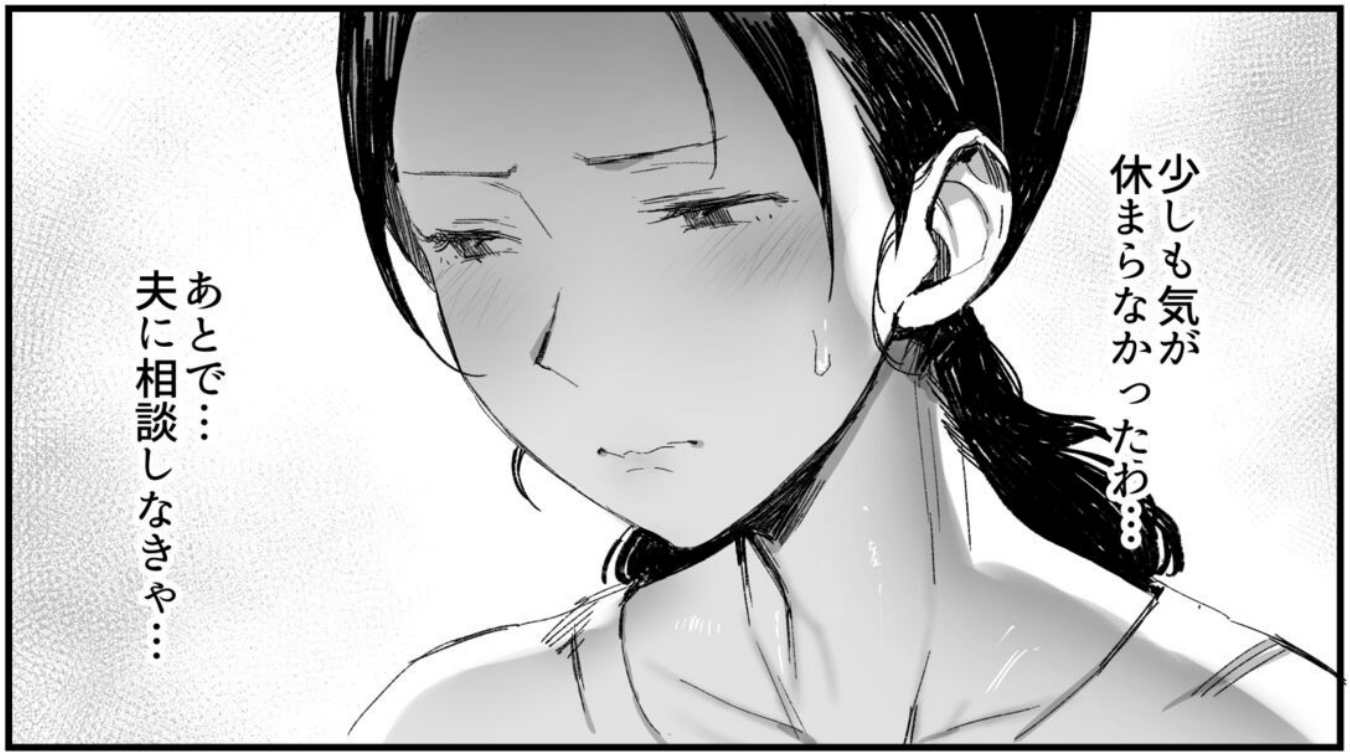
今日も沢山飲みまちゅね～
美味しいでちゅか～？
ちゅぱっ
ちゅっ
ふふふ本当に良く飲んでる
コク
コク
気候も過ごしやすい見たいだし…来て良かったかも
ガタ
!!
きゃあっお義父さんっ!?
ニヤ
お～すまんすまん覗くつもりはなかったんだ
わしも赤子が心配で様子を見に来たんだが…搾乳中だったとはの邪魔したのぉ…
ボタッ
ボタッ
もういいですから…
…次から一声かけてくださいね…

絶対わざとだわ…
もう本当にすけべなんだから…


義父は初めて会った時からじろじろと胸を見てくるような人だった
夫には悪いけど…できれば関わりたく無い
キッ

結婚式の時も酔ってやけに体を触ってきたし…
夕方まで…夫は帰ってこないから用心しなきゃ

しかし私の悪い予想は当たってしまい…
それから…夫が帰ってくるまで義父のセクハラは続いた…


少しも気が休まらなかったわ…
あとで…夫に相談しなきゃ…

今日は病院に兄貴達も見舞いに来ていたいよ
久しぶりに会えて嬉しかったな
あらそうなの良かったわね
トクトク

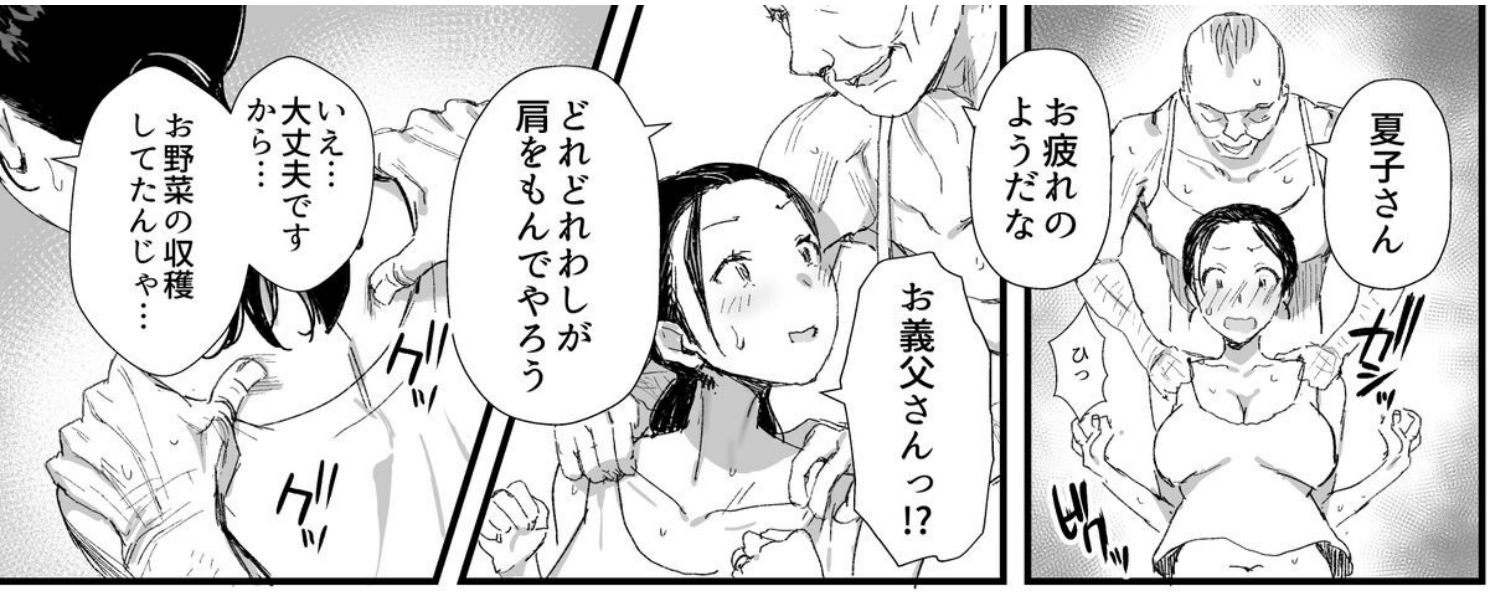
それでさ…明日も見舞いに行くことになったよ
母さんに雑用頼まれちゃってさ…

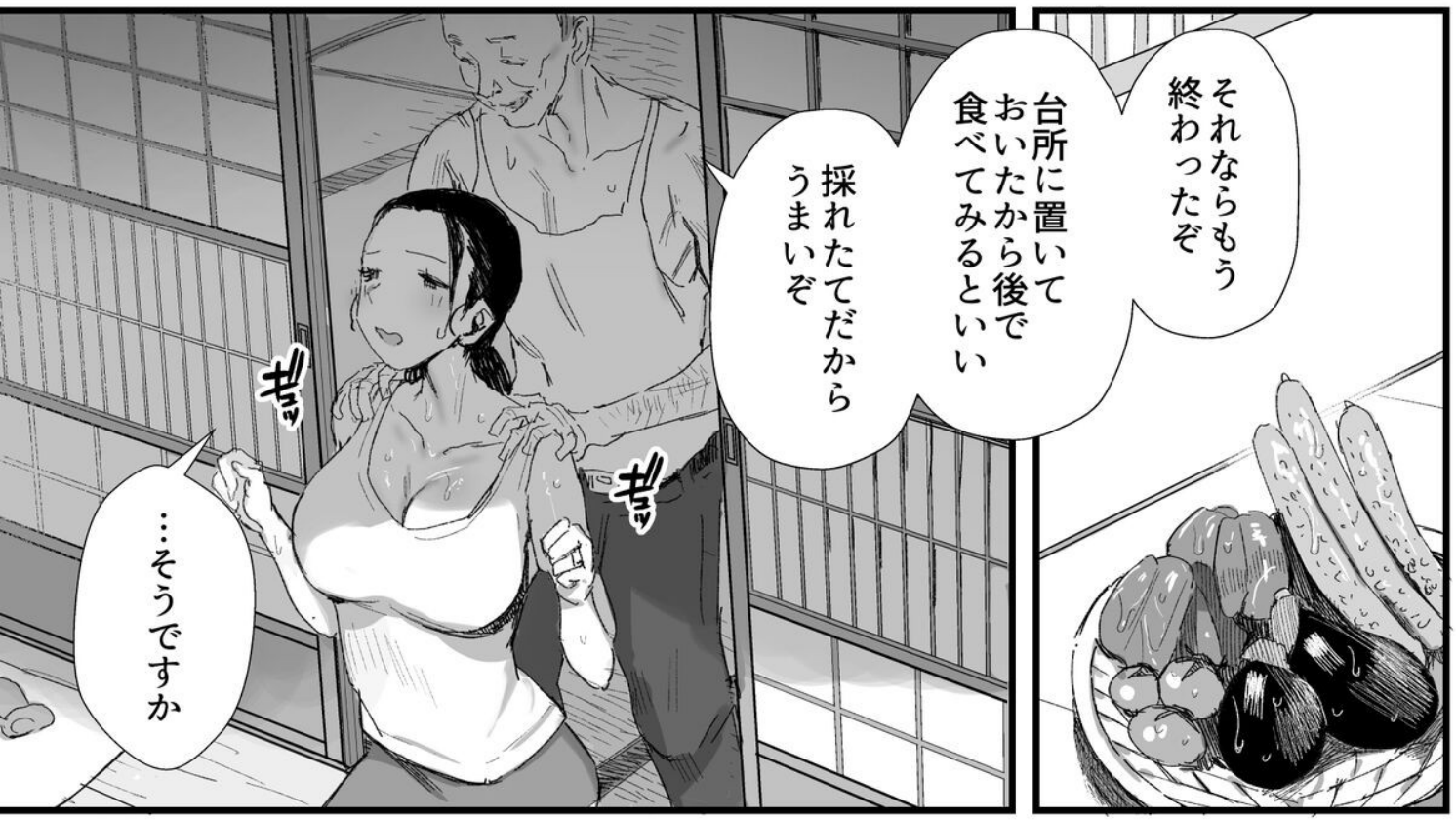
えっ…
自分で動けないから色々大変みたいでさ

そう…それじゃ仕方ないわよね…
キュ…

はぁ…はぁ…
ねえあなた…
ん？
お義父さんなんだけど
少しセクハラが酷くて…
はぁ
何かされたのか？
んっだからセクハラよ
変なこと聞かれたり…お尻を触ってきたり…
はぁ
ああ…父さんも夏子と孫が来て浮かれてるんだよ
多少大目に見てやってよ
でも…
あんまり度を超えるようなら僕からちゃんと言うからさ
わかったわ…
あっあしたは早く…帰って来て…ね
ああ…約束する

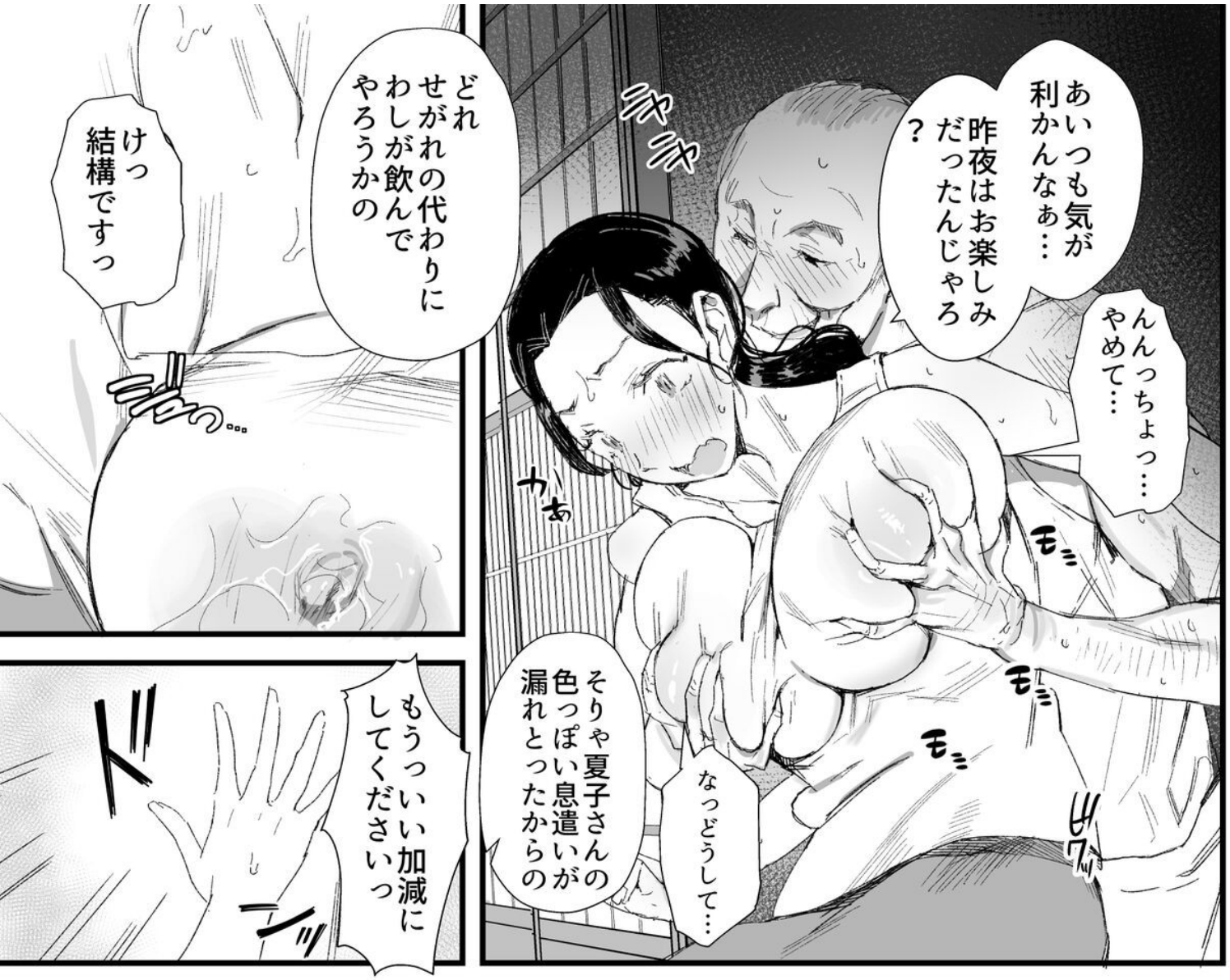
はぁ～本当のどかでいい所ね～…
ちりん
ちりん
ジー
ジー
カナカナカナ
お義母さんがここにいてくれたらもっと良かったんだけど…
スー
スー
あら…寝ちゃった
ミチワ
ミチワ
ケーッ
ケーッ
少し…肩凝っちゃった
コキコキ
キィ


夏子さん
お疲れのようだな
ひっ
お義父さんっ!?
どれどれわしが肩をもんでやろう
いえ…大丈夫ですから…
お野菜の収穫してたんじゃ…


それならもう終わったぞ
台所に置いておいたから後で食べてみるといい
採れたてだからうまいぞ
…そうですか

もぉ…今日は大人しくしててくれて…安心してたのに…

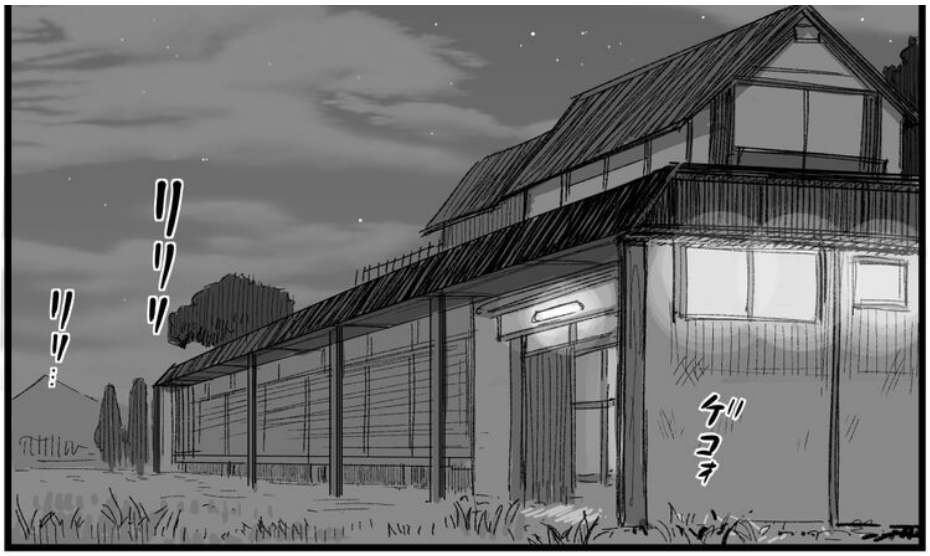
どうじゃわしの力加減はうまいもんだろ
えっええ…でも本当にもう…
あの…そろそろ…夕飯の支度もしなくちゃ…
ニヤッ
遠慮せんでも…そうじゃこっちも…
えっ…
ほぐしてやらんとな！
きゃあっ――！
ちょっとっ…お義父さんっ何するんですかやっやめてくださいっ
はぁ
…少し張っておるのぉ…これじゃ辛いだろう…こうやって…もっとほぐしてやらんと
んっ…


あいつも気が利かんなぁ…
昨夜はお楽しみだったんじゃろ？
んんっちょっ…やめて…
なっどうして…
そりゃ夏子さんの色っぽい息遣いが漏れとったからの
もうっいい加減にしてくださいっ
どれせがれの代わりにわしが飲んでやろうかの
けっ結構ですっ

もういや…我慢の限界だわ…

おっと…すまんのぉ
つい調子に乗ってしまったの…堪忍してくれぇ

カチャ
カチャ


リリリ
リリ…
ゲコォ

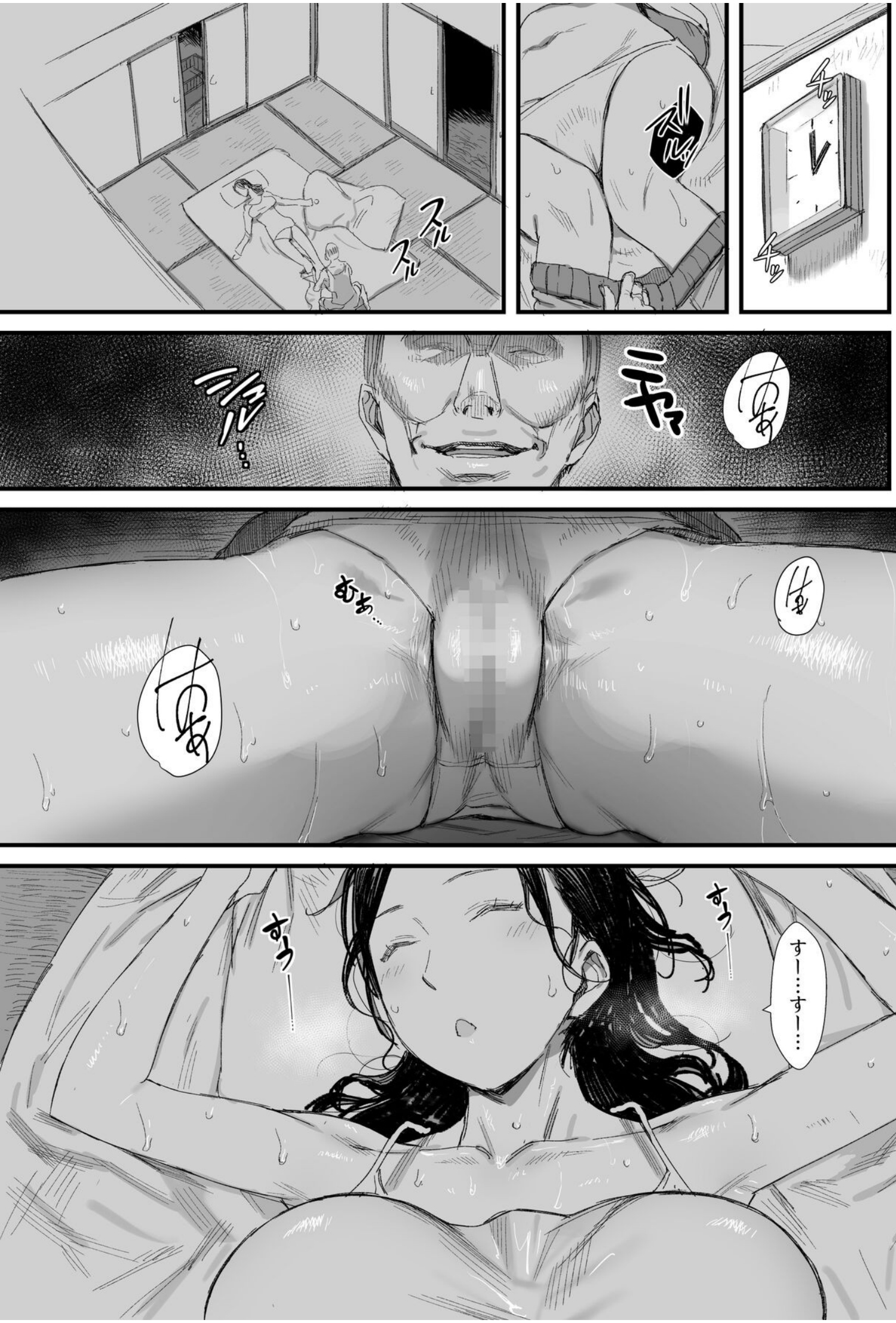
はぁ…最悪だわ…こんな時に…
もしもしっあなたっ!?
えっ？
今日これから兄さん達と飲むことになったんだ
おっ夏子かちょうど連絡しようと思ってたんだ
そんなっ…帰りはどうするのよ

実はもう一杯飲まされちゃってさ…このまま兄さんの家に泊まらせてもらうよ

うそでしょう…こんな時に…
キュ…
ねぇ…なんとか戻ってこれないの
無茶言わないでくれよ…

そう言う訳だからさ…一晩だけなんとか頼むよ
…わかったわ
おや…今日は裕太のやつ帰りが遅いのぉ
えっええ…そうですね少し遅くなるみたいです
ほーんそうか
お義父さんお酌しますねコポポ
こりゃっ嬉しいのぉ
酔わせて早く寝てもらおう…夫が帰らない事を知ったら…何されるかわからないもの
あはは…
美人さんに酌してもらうと格別にうまいのぉ
カラン
もう…どれだけ飲むのよ
グビー
グビー
でもこの様子なら…朝までぐっすりね

カタカタ
カタ
良かった
たくやも
ぐずらずに
寝てくれたわ
すー
すー
ふぁ〜…
私も寝よう…
今日は
本当に
疲れたわ…
あ…お風呂
どうしよう
朝でいいかな
パチ
もうお義父さんとは
これ以上一緒に
居たくない……
明日になったら
夫を説得して
無理やりにでも
ここを去ろう


スル
スル
スル
チュ
チュ
ニヤ
ニヤ…
むあ…
すぅ…
すぅ…
すー…すー…

すー
すー
ぐー
ぐー
ビクッ
へぁっ……
ビクッ
……なっ
…に…誰…っ
ニヤ
ニヤ
ようやく…
目を覚ましたか？
ハッ
サー
きゃあっ!?
お義父さんっ!?
むあっ
はまはぁ
なっ…何してるんですかっ

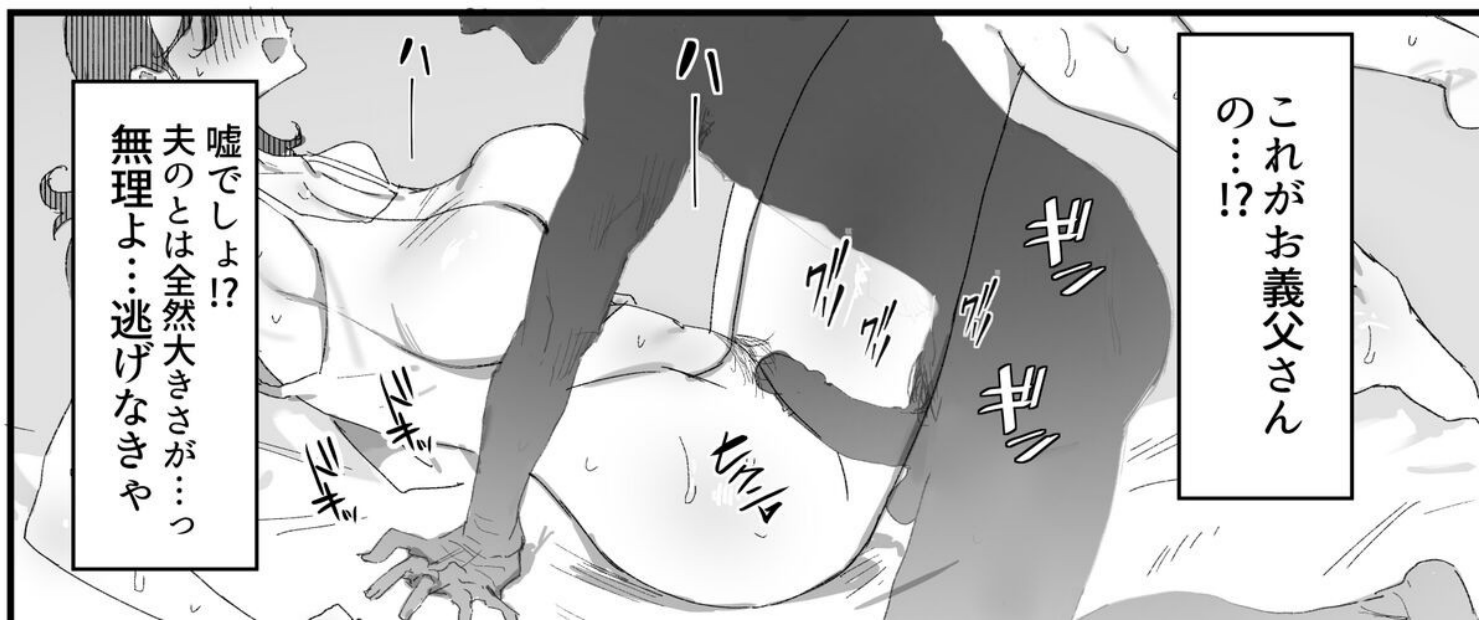
やだっ…
離れてっ！
こんなの犯罪ですよっ
夫にっ
いいますよっ！
くくっ…
思った通り
わし好みの
反応だの
はぁ
はぁ
…堕としがいが
あるのぉ
ごろん
まずは大人しく
なるまで…
たっぷり
ほぐしてやるかのぉ
はぁ
やだっ待ってっ
いやだ…
やっやめてっ
はぁ
ズボッ
ズボッ
カ!!
カぁ

うそっ中にっ入ってっ
お義父さんの舌が…
はぁ
ぞぞ
いやっ
気持ち悪いっ…
はぁ
ビクッ
ヒクッ
レロッ
レロッ
夏子さん…
ちゃんと
おマンコ
洗っとるか？
フンッ
ちょっと臭いが
キツすぎるんじゃ
ないかの？
なッ……
カぁ
せがれは
男のくせに
潔癖なとこ
があるからな
こんな臭い
おマンコ舐めて
もらえんだろ…
ん？
そっ
そんなの…
ペロ
…なんじゃ
図星か
お義父さんには
関係ないでしょ
っ！
キッ
そうか…でも
安心しなさい
わしが
せがれの分まで
舐めてやるから
はぁ
ひっ…結構です…
もう離れてください
はぁ
バッ
はぁ
ズサッ
あっだめっ…
いや…
もう触らない
でっ…
じゅる

はっはっ！…
はっぁー！…
どうじゃ？
弱いとこをじっくり探られながらされるクンニは？
はぁ…はぁ…
ここんなのッ！
きっ気持ち悪い…だけです
ほぉ～2回も漏らしておいて良く言うのぉ…
でも…最後まで声を出さずに耐えたのは大したもんだわ
だめっ
もういや…こんなこと続けられたら…おかしくなる…
…助けて…あなた…

わしは昔から…
人の女を寝取るのが
やめられんタチでな…
この自慢のちんこで…
沢山の女を堕として
きたもんだ…
ま
ドクッ
ドクッ
グッ
ヒクッ
ヒクッ
シュル

やっ…
そんなのっ…
ヒクッ
そういや…せがれが
前に酔って…
夏子さんは男性
経験が少ない…と
話してたの
どうじゃ…
わしくらいの
サイズは
まだお目に
かかったこと
なかったか？
ベロリ


これがお義父さん
の…!?
ハー
ハー
ギン
グッ
ギン
グッ
ヒクヒク
ミチッ
ミチッ
嘘でしょ!?
夫のとは全然大きさが…っ
無理よ…逃げなきゃ

おっと今さら逃がさんよ…
やっだめ…
ぬちっ
ズリッ
ぐぷっ
プルッ
ああ…嫌っやめっ…
ぬぢぢ
んあぐ♡♡
ヒクッ
あぅっ……
お～根本まですっぽりだ
あっ！んぐっ
ギリィ
くくっ必死に耐えてる顔も…最高に可愛いな

あ～
気持ちいいぞっ
夏子さんの
オマンコは名器だっ
グッポグッポッと
吸い付いてくる
んぁっ…あっ

ほれっ気持ち良く
なってきたんだろ？
…そんなっ
はず…
あるわけ
ないでしょっ！

ホントか
のぉ～
ちゅっ
ちゃぽっ
臭い…気持ち悪い…
んん～～っ!?
いやっ…
なんだ…
まだ抵抗する
気力があったか

せがれの…嫁を寝取ってると思うとええのぉ～
これ以上ないくらい気持ちいいわっ
もう精液が上がってきそうだぞっ！
ひぃっ…
いやだ…こんな酷い人が近くにいたなんて
母乳がこぼれてるぞ
えっ…
やあ

やだっ…
バッ
もったいない…どれわしが飲んでやる
きゃあっ!?
やめてくださいっ!
赤ちゃんのっご飯なんですっ!
ガブ
あぁあぁあっ♥

ふい…っ…
んんっ――!?
ッ……
ぷはぁ…
セックスしながら飲む母乳もなかなかなもんだの…おっと？
くく…またイッたか…ったく だらしない
何度目の絶頂かの
ああ…また…せめて…声だけでも我慢しなきゃ…赤ちゃんが起きちゃう…
それに…これ以上調子に乗らせたら…大変だわ

ふっ…ん
おやおや…夏子さん
クリがはち切れそうな程
勃起してるのぉ？
…もういや…
はやく…
終わらせて…
ああ…
そうだったな
そうだ
母乳のお礼に
今度はわしの
精液を注いで
やろう
ッ――!?
はっ…
そんなのっダメッ！
それだけはっ…
やめてくださいっ
お義父さんっ！

!!
ハァハァ
ふふ 暴れおって
生きが良いのぉ
だめっ
絶対だめですっ…
なんじゃ
体位が
気に食わんか？
違うっ…
あっ！
やっあぁーっ！
あ～最後まで…
楽しませて
くれるのっ…

ぐうっ…
精液がのぼって
来たぞっ！
いやーっ
お願いですっ
もう許してっ…
あっああっーっ
中はっ…だめ…
何を言っとる…
ちゃんと中出し
までしないと…
寝取ったことに
ならんじゃろ？

ほらっ
おまえもイケッ
一緒にイクぞっ！
やめて〜っ！
絶対に
わしの女にして
やるからなっ！
ッ〜〜!?
うおおっ——！

ヒクッ
ヒクッ
ビビビ

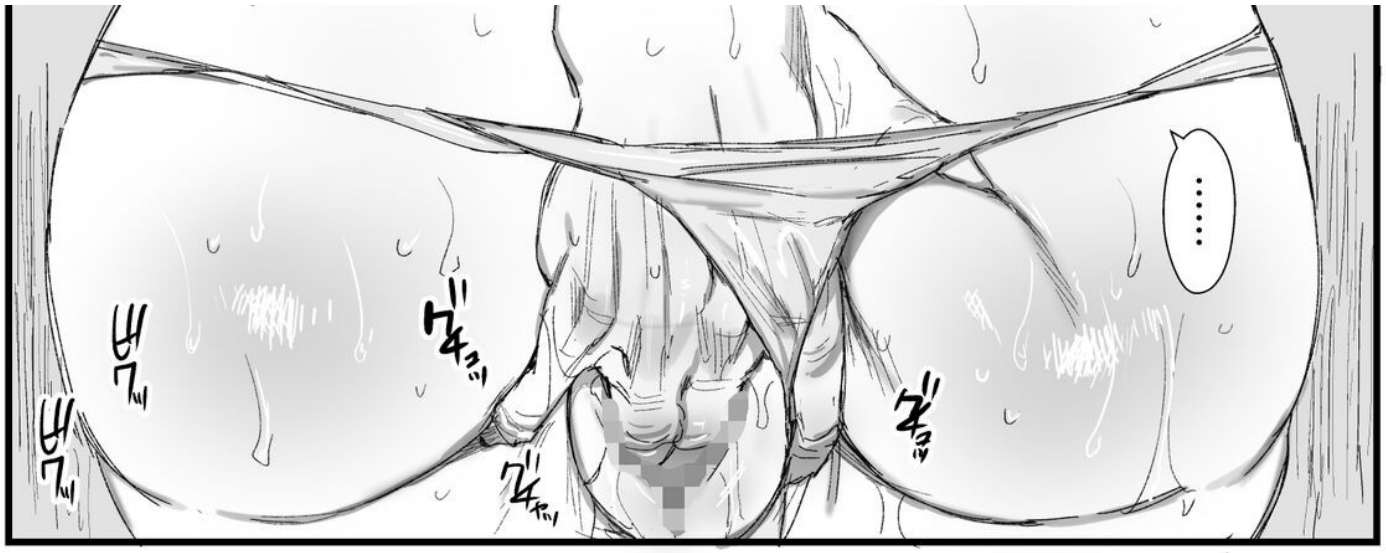
くっ
あー搾り取られとるっ
射精が止まらんわっ
おやっちんこを咥えて離さんぞ？
ンッ……
あっ…

はぁ…
ズロォッ
あっ！
んぐっ
ねとぉ…
はぁー…はぁー…
まずは一発…
まだ堕ちてる様子も
なしか…
ここまで
強情だとは
思わんかったが
朝までたっぷり
楽しめそうだな

義父の行為は…
一晩中続いた
お願い
一回止め…
あんっ
ダメッ
写真まで撮られて
脅され…逆らうこと
などできなかった…
執拗に私の弱い
箇所を探られ…
無理やりに何度も
絶頂させられた…

んぐっ…ん…
はっ…はっ…
ニヤ
ひゅー…ひゅっ…
ハクン
ハクン
グッ…
ビュッ
ビュッ
ビュッ
はぁ
チョロロォ…

オギャ
オギャ
裕太からだったよ
昼すぎに帰るとさ
…さて
続きをやろうか
もうやめに…
ッ…!?
これを
バラまかれたら…
夏子さんも
困るんだろ？
……


……

結局…
夫が帰ってくるまで
解放してもらえず…
私は義父に
何度も犯され続けた…